

からまい



INDEX

- 2 「スズキ株式会社 常務役員 角野 卓 ごあいさつ」
- 3 - 5 「新たな100年に向かって」スズキの2030年に向けての取り組み(その8)
- 6 - 7 〈TOPICS〉「Out of KidZania in Japan Mobility Show 2025」と「第23回 学生フォーミュラ日本大会2025」の展覧を紹介します
- 8 - 9 業務紹介「スズキ未来R&Dプロジェクト」有志10名の挑戦 ワクワクと熱量極大化で未来を創る!—
- 10-11 技術レポート 新型「DR-Z4S」、新型「DR-Z4SM」のエンジン開発

スズキ財団ニュース

- 12-13 加藤 百合子 先生 インタビュー「魅力ある農業を未来へ! 世界へ!」
- 14-15 研究室訪問「根岸 雄一 東北大学 多元物質科学研究所 教授 博士(理学)」
- 16 研究室便り「権藤 詩織 産業技術総合研究所 主任研究員 博士(工学)」
- 17 研究室便り「木口 賢紀 熊本大学 先進マグネシウム国際研究センター 教授 博士(工学)」
- 18 海外研修報告「8th International Conference on Cellular Materials CellMAT2024に参加して」
高松 聖美 千葉工業大学 工学部 先端材料工学科 助教 博士(工学)
- 19 「事業報告」科学技術研究助成の1980年度から2024年度までの45年間の実績



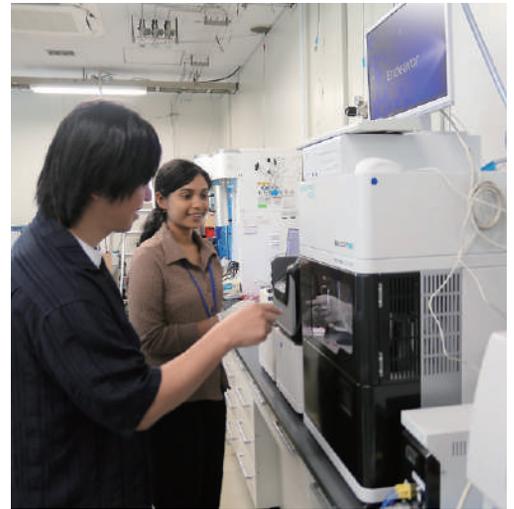
<https://www.s-yaramaika.jp/>



燃料電池電極触媒の評価



触媒合成実験



触媒分析

の工夫それぞれをさらに洗練させる必要があります。今後はこれらの改良を進め、より高性能な触媒を実現し、燃料電池自動車の普及を後押ししながら、持続可能な社会づくりに貢献していきたいと考えています。

開発にも取り組んでいます。これらの研究を通じ、カーボンニュートラルの実現を加速させ、持続可能な社会づくりに貢献していきたいと考えています。

Q3 今回の助成研究以外に先生が取り組まれている研究について教えてください。

クリーンで再生可能な水素社会を実現するためには、水を太陽光で分解して水素と酸素をつくる水分解光触媒の高性能も不可欠です。私たちは、金属ナノクラスターを原子レベルで精密にコントロールできる独自技術を活かし、この光触媒の改良にも挑戦しています。その結果、世界中の研究者が長年かけて開発してきた触媒に対し、世界最高レベルの効率を次々と達成することに成功しています。また、大気中の二酸化炭素を回収し、エネルギー源や化学原料などの有用物質に変える二酸化炭素還元電極触媒の

Q4 理工学系の学生へのメッセージをお願いします。

資源が乏しい日本にとって、科学技術こそが世界と渡り合うための最大の力です。天然資源は限られています。知恵と技術は無限に広がり、努力次第で新しい価値を生み出すことができます。そのためには、基礎をしっかりと学び、自ら課題を見つけ、挑戦を恐れず取り組む姿勢が不可欠です。研究の道は失敗や試行錯誤の連続ですが、そこから得られる学びこそが次の発見への扉を開きます。皆さんの探究心と創造力は、社会をより良くし、持続可能な未来を築く大きな力となります。科学技術を武器に、世界に貢献できる人材へと成長されることを期待しています。

Column

食と運動を楽しむ

— 根岸先生のOFF —

高校時代までは陸上競技部に所属し、毎日走ることに打ち込んでいました。当時は、体重も57kgとスリムでしたが、大学に入学後は、美味しい日本酒やラーメン探しに情熱を注ぐようになり、今ではお気に入りのラーメン店をホームページにまとめるほどの趣味になっています。その結果、体重は学生時代より20kg増加。健康のため、8年前から筋トレを始めました。研究生活は忙しく、ジム通いを続けるのは容易ではありませんが、限られた時間を見つけてコツコツと体を鍛えています。将来的にはボディービル大会に挑戦できるほどの体づくりを目指し、食と運動の両方を楽しみながら続けています。



最近の体?



高校時代の写真